

保育社。

- 4) 矢頭献一・岩田利治 (1966): 図説樹木学
—落葉広葉樹編—。朝倉書店。
- 5) 矢野 佐・石戸 忠 (1964): 原色樹木検索
図鑑。北隆館。
- 6) 杉本順一 (1940): 日本樹木総検索表。井上
書店。
- 7) 竹内 亮 (1975): 図説広葉樹の見分け方
—葉形の見かけによる—。農林出版。
- 8) 大倉精二 (1957): 西駒演習林樹木誌。信州
大学農学部演習林報告。第1号。

- 9) 島崎洋路・塩川孝雄・馬場多久男・林 博道
(1970): 手良沢山演習林樹木誌。信州大学農
学部演習林報告。第7号。
- 10) 北海道国土緑化推進委員会編 (1976): 北海
道の森林植物図鑑—樹木編—。岩橋印刷株式
会社。
- 11) 久居宣夫 (1977): 冬の雑木林での観察。採
集と飼育。第39巻2号。
- 12) 下郡山正己他5名 (1965): 最新植物用語辞
典。広川書店。

長野県に新たに加わる植物 V

横 内 齋

I. Yokouchi: Some new plants to Nagano Prefecture V

トゲナシヤマウコギ *Acanthopanax spinosus* Miq.
f. *inermis* YOKOUCHI

諏訪郡富士見町境。52年5月10日。これより先42
年8月、木曽郡日義村大原にても採集。ヤマウコギ
の刺のない変形。諏訪のものは20cm程の小枝にま
ま1,2刺が見られる。木曽のものは全く無刺。横内齋
採集。

シダレダンコウバイ *Lindera obtusiloba* BL. f.
pendula YOKOUCHI

諏訪郡富士見町富士見。52年8月16日。ダンコウ
バイの枝が見事に下垂する変形。横内齋採集。

シダレヤマアサクラサンショウ *Zanthoxylum pi-
peritum* DC. f. *rotundatum* YOKOUCHI

諏訪郡富士見町境。52年8月16日。小枝はみな下
垂し、半円形状を呈す。横内齋採集。

ヒロハミドリキタヨシ *Phragmites communis*

TRIN. f. *latifolius* YOKOUCHI

北安曇郡池田町山中温泉。52年9月11日。ミドリ
キタヨシの広葉品。葉巾2.5cmにもなる。横内齋採集。

キバナススキ *Miscanthus sinensis* ANDERS.
f. *flavus* YOKOUCHI

越中国・黒四ダム、黒部平。52年9月11日。スス
キの花穂の黄色品。横内齋採集。

イヌアワ *Setaria chondrachne* HONDA

中野市田上 (旧倭村) 52年10月初旬。丸山利雄氏
採集。

ヒロハムラサキオギ *Miscanthus sachariflorus*
BENTH. f. *shinanensis* YOKOUCHI

東筑摩郡四賀村錦部。52年10月12日。ムラサキオ
ギの広葉品。葉巾3cmにもなる。横内齋採集。

(注) これらの新植物はまだ正式には発表されていな
い。(T. S. 生)

【植物ニュース】18. ヒカゲツツジ *Rhododen-
dron keiskei* Miq.

西南日本と中部、関東の太平洋側に分布域が知ら
れているこの種は、県内での北の分布地として大町
附近や上高井郡根子岳が記録されている。昨年、伊
藤静夫氏は、上水内郡小川村から報じたが、更に北
方の同郡戸根村荒倉山にも生育していることが分っ
た。そこは、海拔約1,200 mであって、安山岩質の
凝灰角礫岩が露出する急崖地である。地元の人
は、キンツツジとかシャクナゲと呼んで、イワヒバと共
に古くから採取しているが、かなり広い範囲に見ら
れる。なお、上高井郡では、根子岳の北方、奈良山
麓 (海拔1,100 m) にも分布している。(和田 清)

19. タカオワニグチソウ *Polygonatum cryptan-
thum* Lév. var. *azegamii* Ohwi

諏訪郡富士見町の標高約1,000 mの落葉広葉樹と
カラマツの混生林の下でとった。山道のわきに数本
生育していたが、道路の拡張が行なわれれば根絶す
るおそれがある。草丈は1 mをこえる大形のもので、
葉の様子等から見てナルコユリに非常に近い。タカ
オワニグチソウとは別種ではないかと考えられたが、
清水建美先生を煩わして調べていただいた結果、タ
カオワニグチソウであるとの結論に達した。奥原弘
人氏は木曽谷から報告しているので、今回の記録は
高尾山と木曽の中間ということになる。

(今井建樹)